

JSAF 外洋東海第 90 回理事会・第 46 回代議員会・第 38 回総会(臨時)議事録

1.開催日時 平成 30 年 3 月 1 日(木) 午後 6 時 45 分～8 時 55 分

2.開催場所 愛知県スポーツ会館 第 1 会議室

3.出席者

<理 事> (本人出席)

坂谷定生、大島茂樹、川合紀行、牧野秀明、五藤 敏、龍野信人、中村 孝、吉村政治
(委任状出席)

林 泰成、稲垣 靖、河内道夫、金森由朗 定足数 11 出席数 12 (成立)

<代議員> (本人出席)

岩瀬喜貞、永井守久、龍野信人、森岡稔夫、奥田義明、水越英次
(委任状出席)

稲垣 靖 定足数 5 出席者 7 (成立)

<会 員> (本人出席) 13 (委任状出席) 386 定足数 200 出席者数 399 (成立)

<監 事> 富川則之
(敬称略)

4.議 事

定刻になったので坂谷会長議長となり、理事会、代議員会、臨時総会の開会を宣す。

議事録署名人に、牧野英明、五藤 敏氏を指名した後、議事に入った。

・理事会報告事項

I.会長命により川合安全委員長から 2 月に始まった救命具着用義務付けと、JSAF 及び JSAF 加盟団体主催のレース中における適用除外の解釈について説明。

1. 桜マーク救命具着用が原則。
2. 適用除外となるのは OSR 安全基準を適用しているレースのみ。(船検ではダメ)
3. クラブレースにおいては救命具着用を義務付ければ問題は起こらない。

会長より誤解されやすい事例なので、3 月中に各クラブのレース委員長レベルの方に集まってもらって説明する旨の発言があった。

II.JSAF 関係報告として、会長より報告があった。

1.外洋艇推進グループの中にジャパンカップ委員会が設置された。今後開催されるジャパンカップ(今年から 3 か年は東海水域で開催される)は、この委員会が主導して開催される。

2.日本ミドルボート協会設立の申請が上がり、2 月 24 日の JSAF 理事会において協議がなされたが、特に異論がなく次回 5 月の理事会で設立が正式に認可される見込み。

III.2018 年度のレース日程案の協議

添付の日程案を協議。

今年と比べ変更点は、①5 回目の沖縄－東海ヨットレースが開催される。②ミドルボート東海選手権と TRS ディスタンスカップが新規に追加。③東海チャンピオンシップを 2 週にわたって開催していたものを、10 月上旬の 3 連休を使って集中開催する。

以上理事会承認された。

・代議員会、臨時総会、理事会審議及び報告事項

I.平成 29 年度事業報告及び収支状況について

河内事務局長が体調不良のため辞任されたこともあって、事業報告は 1 月末までだが、収支状況は 11 月末現在である旨出席者に了解を求め、了承されたのち添付資料により、委員会別に会長説明する。(P3～5・P6～12 は参考資料)

本年度の収支については当初より約 55 万円の赤字予算書であったが、11 月末で実質残が約 117 万円で、12 月～3 月の支出には対応でき、収支とんとの予測をしている。

説明に対し特に意義無く理事会、代議員会承認された。総会へは報告案件。

II.平成 30 年度事業計画案、収支予算案について

添付資料 P13～15 により、委員会別事業計画案及び収支予算案について会長説明する。

事業計画「広報・IT 委員会」の項目で、Tell Tail の発行をやめるが、議事録や情報は HP を活用して公開する方向に転換したい旨表明したところ、これまで通り発行すべきという意見と電子化賛成意見に分かれたため、執行部で再考することになった。

会員からの希望として、外洋東海から会員にメールで各種のお知らせをしてほしい旨の発言があった。

収支予算案については、2018 年度が沖縄－東海の開催年のこともあって、本年度中に入ってくるエントリーフィーがほとんど繰り越されてくるので、前年度繰越金を 160 万円見込み全体としては少額の黒字の見込みである旨報告し、代議員会に諮ったところ意義無く承認された。

総会には報告案件。

・その他

レースの賞として、ペラペラのプレートはいかがなものかと意見が出された。

プレートよりある程度のカップの方がいいのかと確認したところ、一生懸命レースをやっているわけだから、いいものがほしいという意向だった。(今後の参考にすべき案件)

以上議案すべて終了したので 20 時 55 分会長閉会を宣す。

議事録署名人 牧野英明

五藤 敏

平成 2 9 年 度 事 業 実 績

平成 29. 4. 1～平成 30. 1. 31

帆走委員会

1 レース（7レース）

開催月日	レース名	参加艇数	前回参加艇数
4/ 2	第 25 回 三河湾周遊レース	15 艇	15 艇 H28
5/ 3	第 42 回 五ヶ所湾合同レース	20 艇	21 艇 〃
5/21	第 31 回エリカカップヨットレース	65 艇	61 艇 H28
7/14～17	全日本ミドルボート選手権 2017	20 艇	21 艇 H27
7/27～30	第 58 回 パールレース	48 艇	51 艇 H28
8/27	ラグーナ・デニスコナーカップ（第 28 回）	25 艇	24 艇 〃
10/29・11/4・5	第 42 回 東海チャンピオンシップ	12 艇	10 艇 〃

2 レース実行委員会

エリカカップヨットレース 反省会開催	6/16
第 58 回 パールレース実行委員会開催	6/21
ミドルボート・パールレース反省会	9/20

3 レース表彰

H29 年度 レースおよび年間成績表彰 11/25（於：名古屋 東京第一ホテル 年末パーティー）

計測委員会

1 I R C 2017 証書発行

〈2016〉

新規 4 艇	Asama	Flanker	Sharaku	Ciervo	3 艇
更新 28 艇					25 艇
変更 7 艇					6 艇
取得艇現況	32 艇	内訳：(ENDORSED)	18 艇	(STANDARD)	14 艇
					27 艇

2 T R S（東海レーティングシステム）2017 証書発行

取得艇 68 艇 60 艇

安全委員会

1 パールレースにおいて安全セミナー開催

7/27 志摩ヨットハーバー

2 安全訓練「外洋特別規定」の説明

「ライフジャケット着用義務」「港則法改正」の説明 8/26 ラグナマリーナ 約 46 名参加

ルール委員会

- 1 第58回パールレースのプロテスト委員に参加
- 2 その他のレースにプロテスト委員として参加

海事普及委員会

- 1 クルザーミーティング 8/6(日) 於：三谷漁港
- 2 年末パーティー 11/25(土) 於：名古屋・東京第一ホテル 49名参加

総務・財務委員会

- 1 会議
常任委員会 4回開催 第74回 4/28 第75回 5/16 第76回 6/29 第77回 1/10
理事会 4回開催 第87回 5/26 第88回 9/13 第89回 1/31 (第90回 3/1)
代議員会 第45回 5/26 (第46回 3/1)
総会(通常) 第37回 5/26 (第38回 3/1)
友の会総会 第19回 5/26 (第20回 3/1)
- 2 第5回 全国外洋加盟団体長会議 9/30(鹿児島：霧島) 坂谷、大島 出席
第6回 全国外洋加盟団体長会議 1/21(東京) 坂谷、大島 出席
- 3 理事会、代議員会、総会資料作成
- 4 28年度収支決算書の作成
- 5 28年度会計監査 5/25 事務局
- 6 30年度収支予算(案)、29年度収支状況(11月末)を作成

広報・IT委員会

- 1 ホームページへレース情報、成績を掲載・更新し、広報に努めた。
- 2 ホームページの維持・管理を行った。

平成 3 0 年度事業計画（案）

（平成 30. 4. 1～平成 31. 3. 31）

帆走委員会

1 レース日程（9 レース）

開催月日	レース名	部 門		
4/ 1	第 26 回 三河湾周遊レース	I R C	T R S	ダブルハンド (T R S)
4/26～5/8	沖縄－東海ヨットレース 2018（5 回目）	I R C	—	ダブルハンド (I R C)
5/ 3	第 43 回 五ヶ所湾合同レース	I R C	T R S	—
5/19～20	ミドルボート東海選手権	—	T R S	—
5/20	第 32 回 エリカカップヨットレース	(I R C)	T R S	ダブルハンド (T R S)
7/26～29	第 59 回 パールレース	I R C	(O R C)	ダブルハンド (I R C)
8/26	第 29 回 ラグーナ・デニスコナーカップヨットレース	(I R C)	T R S	ダブルハンド (T R S)
10/ 6～8	第 43 回 東海チャンピオンシップ	I R C	—	—
10/7	第 1 回 T R S ディスタンスカップ	—	T R S	—

- ・ T R S（I R C）のレースは、T R S：T R S（東海レーティングシステム）で実施する。
希望する艇には I R C の成績も算出し、I R C 部門 年間成績に反映する。（表彰しない）
- ・ ダブルハンド部門を 3 レースに設定する。適用レーティングは T R S とし、安全規定は船検とする。
- ・ I R C, T R S 双方の部門設定するレースにおいて、I R C と T R S のダブルエントリーは出来ない。
別紙 レース日程表を参照

2 平成 30 年度 レース表彰

三河湾周遊、五ヶ所湾合同レース：5/20 エリカカップヨットレース前夜祭にて表彰する。

沖縄－東海ヨットレース：5/20 エリカカップヨットレース表彰式にて表彰する

東海チャンピオンシップ、年間成績：11/24 年末パーティにおいて表彰する。

3 各クラブ共同主催レース、各クラブ開催レース集約予定

4 レース・オフィサー他レース運営要員を養成する。

5 レース参加者の乗船経歴証明書の発行

6 J S A F レース委員会・外洋小委員会、外洋合同委員会に出席する。

7 ライフジャケット着用義務化と外洋東海との共同主催レースにおける対応についての確認。

計測委員会

1 I R C、O R C レーティング取得の応援、サポート

2 T R S 証書の発行

- 3 計測委員を維持・養成する。
- 4 J S A F 外洋計測委員会・I R C 委員会、外洋合同委員会に出席する。

安全委員会

- 1 主催レースにおいて JSAF-OSR に基づくインスペクションを実施する。
- 2 各フリートにおいて、安全の啓蒙活動(ライフジャケットの点検・整備)等を行う
- 3 第 59 回パールレース・安全セミナーを開催する。 平成 30 年 7 月 26 日
- 4 安全訓練を実施する。 於：ラグナマリーナ 平成 30 年 8 月 25 日
- 5 J S A F 外洋安全委員会、外洋合同委員会に出席する。

ルール委員会

- 1 パールレースを始めとする主催レースのプロテスト委員を担当する。
- 2 A 級、B 級ジャッジ資格者を養成・確保する。

海事普及委員会

行事の開催

- 1 7 月初旬 沖縄・座間味レース参加ツアーを開催する。
- 2 7/14・15 (予定)「ひと・人・ヒト ヨットレース in 蒲郡」共同主催
- 3 8/5 クルザーミーティング(三谷漁港・蒲郡マリンカップ)の開催
- 4 11/24 (土) 年末パーティの開催

総務・財務委員会

1 会議開催

常任委員会 2 回程度開催予定

理事会 5 回程度開催予定

5 月 前年度事業報告、収支決算報告 審議

10 月 12 月

2 月 次年度事業計画・予算、次年度会費・会計基準 審議

3 月 新年度事業計画展開 審議

代議員会 2 回開催予定

5 月 前年度事業報告、収支決算報告 審議

2 月 次年度事業計画・予算、次年度会費・会計基準 審議

総会 2 回開催予定

5 月 前年度事業報告、収支決算報告

2 月 次年度事業計画・予算、次年度会費・会計基準 報告

友の会総会 1 回開催予定

5 月 収支決算報告

- 2 全国外洋加盟団体長会議（9月・1月）に出席する。
- 3 J S A F新会員管理システム、会費 Web 決済および艇登録システムを案内する。
- 4 理事会、代議員会、総会の資料作成および議事録作成
- 5 会費および事業収入および支出による財務状況を管理する。

広報・IT委員会

- 1 主催レース・行事、航行安全情報等をホームページに掲載し広報する。
- 2 ホームページを維持・管理する。
- 3 P C等事務環境を維持・管理する。